

令和6年度 倉敷市立短期大学 専攻科（服飾美術専攻）

入学試験（一次募集）

小論文問題

受験番号				

次の文章は、岡本太郎氏が、1970年に開催された万国博覧会テーマ館について記したものである。文章をよく読んで、問いに答えなさい。

万国博は世界の祭りである。世界中のあらゆる地域から人々が集まり、この広場で、生身でぶつかりあい、互いの文化、生き方の独自性と根源的な共通性を確かめあう。そして〈人間であること〉〈生きていること〉の意味を誇らかに確かみ取るのだ。祭りは生きがいだ。社会の進歩とともに、そのあまりにも機械的なシステムの中で、とかく空しくなってゆく人間が未来の存在の幅をとりもどし、全体的にひらききるチャンスなのだ。

テーマ館は EXPO'70 の中心にあって、この祭りの理念を誇らかに表現する。

このパビリオンは閉ざされた一つの建物ではない。メインゲート正面の広場にそそり立つ〈太陽の塔〉。祭神であるこのモニュメントを核として、過去・現在・未来の3つの層が重なりあって構成する巨大な空間だ。それぞれが完結していながら、また渾然として一体をなす。とざされていると同時にひらかれている。3つの空間・時間は互いに響きあい、一つのうさに他の二者をふまえた宇宙の環だ。瞬間々々に輪廻している。マンダラなのである。

色・光・音・物語が、過去・現在・未来から渾然と迫ってきて人々を包み込む。だが、祭りをもりあげるのはあなた自身なのだ。無邪気に、無条件にこの中にとび込んで、無限にふくらんでほしい。

出典：平野暁臣『太陽の塔ガイド』『日本万国博覧会テーマ館ガイド』より、
小学館クリエイティブ、p56, 2018

問. 本文に記された内容を対照しながら今世紀の価値観について考え、その価値観にもとづいて企画された博覧会・イベント、ファッション、工業製品などを具体的に挙げて 600～700 字で説明せよ。